

シルバー連合

おおいた

No.
17



大分県連合の重点

- シルバー事業活性化に向けた企画提案型事業の推進
- 事故「ゼロ」を目標とした安全・適正就業事業の推進
- 会員増強に向け、年間を通じてのシルバー事業普及啓発活動の展開
- 一般労働者派遣事業への本格的な取り組み



社団法人 大分県シルバー人材センター連合会

〒870-0026 大分市金池町一丁目1番1号 大交セントラルビル 5階

TEL 097-540-6313 FAX 097-540-6315

大分の国宝シリーズ②

富貴寺

豊後高田市にある富貴寺は、九州最古の木造建築。日本三大阿弥陀堂として知られ、国宝の指定を受けている。本尊として安置されている国指定重要文化財の木造阿弥陀如来坐像は、穏やかな表情と優美な姿が特徴。

春の梅や新緑、秋のイチョウや紅葉など、四季の彩りも美しく、毎年多くの写真家や観光客が訪れる。



- 3 安全就業・交通安全の取り組み
- 4 企画提案方式事業
 - ・(社)大分県シルバー人材センター連合会
 - ・(社)臼津地域シルバー人材センター
 - ・(社)佐伯市シルバー人材センター
 - ・(社)豊肥地域シルバー人材センター
 - ・(社)国東市シルバー人材センター
 - ・(社)豊後高田市シルバー人材センター
- 11 平成21年度 各種開催事項の紹介
- 12 平成21年度 シニアワークプログラム事業 講習一覧
- 13 「シニア就業支援プログラム事業」について
- 14 普及啓発に伴う周知・広報
- 15 (社)別府市シルバー人材センター設立
20周年記念式典
- 15 編集後記
- 16 平成21年度 会員名簿

安全就業の取り組み

安全は、気配り、目配り、思いやり、心のゆとりで防ぐ事故

安全就業

ひやり・ハット 「危ないぞー」

安全は 気配り目配り思いやり 心のゆとりで防ぐ事故

指差呼称 **自分で守れ**

スローガン
気のゆるみ 慣れ 油断が 事故のもと

.....(社) 大分県シルバー人材センター連合会.....

(社) 大分市シルバー人材センター	(社) 宇佐市シルバー人材センター
(社) 別府市シルバー人材センター	(社) 豊後地域シルバー人材センター
(社) 中津市シルバー人材センター	(社) 国東市シルバー人材センター
(社) 日田市シルバー人材センター	(社) 豊後高田市シルバー人材センター
(社) 佐伯市シルバー人材センター	(社) 由布市シルバー人材センター
(社) 臼津地域シルバー人材センター	杵築市シルバー人材センター

シルバーの安全重点就業

草刈・剪定作業の安全対策

転倒・転落事故の防止

- アタック KYT の実施
作業前の 10 分間ミーティングから
- 自己管理の徹底
自分の身は自分で守る
- 慣れ・油断・無理な作業防止
体力・技能は初心を忘れずに
- 健康管理の実施
健康・腰痛体操をしよう

(社) 大分県シルバー人材センター連合会

交通安全

就業途上の安全運転

よし!

- ★ 交通ルールの遵守
- ★ 余裕を持って仕事場へ

会員一人ひとりが主役です!

- ★ 当事者意識で初心に返っての安全運転
- ★ 大丈夫と過信しないで慎重に

前方・後方・左右の確認

- ★ 指差し呼称で安全確認
- ★ 交差点では細心の注意を

～安全運転は全てに優先します～

.....(社) 大分県シルバー人材センター連合会.....

(社) 大分市シルバー人材センター	(社) 宇佐市シルバー人材センター
(社) 別府市シルバー人材センター	(社) 豊後地域シルバー人材センター
(社) 中津市シルバー人材センター	(社) 国東市シルバー人材センター
(社) 日田市シルバー人材センター	(社) 豊後高田市シルバー人材センター
(社) 佐伯市シルバー人材センター	(社) 由布市シルバー人材センター
(社) 臼津地域シルバー人材センター	杵築市シルバー人材センター

運転者の交通事故防止

人も車も早めの合図

右からの歩行者に注意!

ライトアップ走行を!

歩行者の交通事故防止

横断は、左右をよく見て
まっすぐに!

左からの車に注意!

青信号でも安全確認を!

反射材を着けましょう

気のゆるみ 慣れ 油断が 事故のもと

高齢者の交通事故防止

安全意識の高揚

危険予知訓練 (KYT 研修)

KYT研修修了者
安全+適正就業
(社) 大分県シルバー人材センター連合会

KYT研修修了者腕章

「リーダー会員養成研修会」

事業分野：子育て・教育・介護・環境

シルバー人材センター活性化人材育成事業

研修内容 育児支援・教育支援・介護援助・家事援助

受講者数 30名

① 育児支援

期日：平成21年
7月9日・14日・31日
(3日間)
場所：コンパルホール
講師：東九州短期大学
松田 順子 教授



③ 介護援助

期日：平成21年
11月5日・12日・19日
(3日間)
場所：大分センチュリーホテル
講師：ゆうゆうの郷(白雲山荘)
姫嶋 良子 先生



② 教育支援

期日：平成21年
7月9日・14日・31日
(3日間)
場所：コンパルホール
講師：大分大学
山岸 治男 教授



④ 家事援助

期日：平成21年
11月5日・12日・19日
(3日間)
場所：大分センチュリーホテル
講師：やすらぎの里
本田 あおい 先生



「よいこのへや」

やさしい～!
おばあちゃんと一緒だよ♪

事業分野：子育て・教育

平成22年2月3日現在 登録保護者数268名、子ども368名計636名 会員数28名

臼杵開設 平成20年1月18日、臼杵市唐人町に開設46.5㎡、
今年3月、港町本通りに移転136㎡

津久見開設 平成20年8月20日、津久見市高洲町に開設114.5㎡

1. 活動内容

1 子育て親子の交流の場の提供と 交流の促進（無料）

図書館、地域情報センター、銀行、郵便局、スーパーなどが集まっている中心市街地の空き店舗を借用し、シルバー人材センターの行う育児支援拠点を開設。H22年3月には利用者の増加で広い場所へ移転。

幼稚園や保育園 OB 会員が中心になって、親子の利用だけでなく子どもだけの預かりも実施。ヒップホップダンスなどを取り入れている。毎週月・水・金 9:00～16:00

2 子育て等に関する相談、援助の実施（無料）

経験豊かなおばあちゃん世代による見守りで、一緒に折り紙をするなど安心してくつろげる場を提供する。そうした雰囲気の中で相談し、お互いの悩み事を話し、共有することで母親同士の交流にも繋がる。

3 子どもだけの一時預かり

（ミニ託児所、1時間当たり300円）

1時間単位で子どもを見守ることで、子どもたちを預かり、お母さん方に安心して用事をして戴く。お母さん方に「ほっとタイム」を提供しリフレッシュ後、育児に頑張るって戴く。

4 その他

子育て及び子育て支援に関する講習等の実施、

地域の子育て関連情報の提供、市の体育館を利用した異世代交流「ヒップホップダンス」、異世代交流パソコン教室。

親子で安心してくつろげる場所として、また、親同士や子ども同士の交流の場として色々な情報交換の場として、もうひとつは子どもを預かる場「ミニ託児所」として立ち上げています。

お母さん方が、病院や美容院へ行く、図書館や催し事に参加したい時チョットの間子どもたちを見守ってお母さん方が安心して出かける。お母さんに「ほっとタイム」を提供することでお母さんが、また、育児に頑張れる。1時間単位で子どもを預かる。

最初は不安な中でスタートしました。

育児支援班日誌の中に、

20年1月にスタートしましたが、「お母さんが美容院に行くのに預けに来られた子どもさんが、30分過ぎたころからため息をついたりぼんやり外を眺めたり・・・じっと我慢している様が愛らしくいとしかった。」「おうちから迎えが来ても『帰りたくない』」。最近ではお母さんが言うことを聞かないと子どもに『よいこのへやにいかないよ』っというと、言うことを聞いてくれるんです。」等々子どもたちや見守る側の思いが少しの行の中に綴られていて、「よいこのへや」がお母さん方にだんだん認知されていく様子がうかがえ、育児支援班のおばあちゃんたちに

とってもほんとに大切な宝物だと感じます。この宝物（大学ノート）の有難さは、人生経験豊かな、幸せなひと時だけでなく苦しい時代を生き抜いて、60歳を過ぎてもなお健康で子どもたちと係れる有難さを知っているおばあちゃん世代だから感じる事が出来るのです。

それぞれの人生を生き抜いてきたおばあちゃんとの何気ない一言は、お母さん方にも理解して戴け、利用者も順調に伸びています。

よいこのへやでは、おばあちゃんたちの読み聞かせや遊戯等のほか、市の保健師さんのお話を月に1回実施しています。また、利用されるお母さんが先生になって「ヒップホップダンス」が月に1回のペースで始まりました。また、このヒップホップがよいこのへやを飛び出して市の体育館を全面借り切って実施するまでになりました。多い時は100人を超える幼児や小学生、高校生、お母さん、おばあちゃんまで世代を超えて元気に楽しいひと時を過ごしています。

お母さん方にパソコンに馴染んでいただくよう「ジジババとお母さんのためのパソコン教室」を開催しました。よいこのへやで子どもを預かり、安心して勉強できる、高齢者まで一緒になって和気あいあいの中での参加となりました。20名の受講者の内6名のお母さんがよいこのへやに子どもを預けて7日間、マウスから、テレビ電話まで使い方について学び、頑張りました。



ヒップホップダンス

2. 経緯、課題・展望

平成19年度から育児支援班の体制作りに向けて動き出し、20年1月には臼杵市でよいこのへやが開設、運営を始めました。20年度には企画提案方式に応募し採用され、20年8月には津久見がスタート致しました。また、臼杵「よいこのへや」は21年度児童福祉サイドの「ひろば型子育て支援拠点」として認可され、事業として認知、動き出すことが出来ました。

少子高齢化が進む中で、子育ては地域の中で地域の宝物として見守っていく時代です。シルバー世代のおばあちゃんパワーの見せ処です。「よいこのへや」が市民権を戴いて皆さん方から頼れる「チカラ」になれるよう、また、「独りよがり」に陥らないよう研鑽が必要です。今でも毎月、プライバシーや人権問題など、より基本的な研修から、時に応じたテーマでの話し合いを持っています。しかし、慣れによる気の緩みや、「・・・していたつもり」が、お預かりする命を傷つけ、最悪の場合失わせる危険と隣り合わせです。

これからは、家庭に出向いての家事援助やお母さん方の悩み相談等広げていこうとしています。もっと先には、障害者の家庭の対応も視野に入れてシルバー会員の研鑽を行ってまいります。



よいこのへや

「さいきの茶の間」介護予防事業

事業分野：介護・環境

市街地の空き店舗を活用し、市が提案している地域福祉計画の一つである「さいきの茶の間」推進事業に共同参画をして、介護予防事業と市街地商店街の活性化を図るための取り組みを行っています。

地域内での孤立・閉じこもり防止、健康・生きがい作り、仲間づくり等を目的に、高齢者、障害者、子育て中の親子等が自由に気軽に集える場を提供し、健康体操・手工芸品作り、講話等を実施しています。



「さんちゃんサポート事業」

事業分野：介護・子育て

地域の高齢者、障害をもつ方等の生活援助サービス事業（買物、掃除、洗濯等、身辺介護、散歩、通院等）とあわせ、少子高齢化、核家族化が進む中、育児に悩むお母さんを応援する子育て支援事業を実施してきました。

これらに加え、独居の方の手伝いや話し相手になったり心のケアに本格的に取り組み、高齢者が楽しくいきいきと安心して暮らすための支援事業を展開しています。

さらに6ヶ月～6歳児までの乳幼児の一時預かり等働くお母さんのサポートを積極的に行っています。



「仏の里」グリーンアップ事業

事業分野：環境

国東市が定めている一般廃棄物（ごみ）処理基本計画で、ごみの減量化等に厳しい制限があり、環境保全の観点から市とセンターが連携し、ごみの減量化・資源の有効活用を図るための取り組みを行っている。

①腐葉土の商品化

粉碎したチップに発酵促進剤を混入して有機堆肥を製造。



②農地や家庭菜園の希望者に有機堆肥を販売

遊休農地が年々増加し、環境や地域の美化に悪影響を及ぼしています。

市が策定している遊休農地の活用促進により、センターとして食の安全・安心・自給率の向上と地産池消・環境保全等から遊休農地を活用した取り組みを行っています。

- ①水田の遊休農地を活用して、大豆、黒豆を生産し、環境美化を推進。
- ②大豆は、食の安全・安心を確保するため、味噌加工場を増設。
- ③黒豆は、スーパー、道の駅等で販売。

